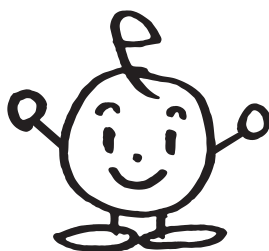


サポーター&コーディネーター

こどもエコクラブ 応援マニュアル

JUNIOR ECO-CLUB



応援しよう!子どもたちの、子どもたちによる、
子どもたちのための環境活動

クラブ名

名 前

応援するみなさんへ

地球温暖化をはじめとする環境問題が大きくクローズアップされ、多くの人たちにも知られるようになった1995年、子どもたちによる環境活動や環境学習を支援する事業「こどもエコクラブ」が誕生しました。事業開始からこれまでに、のべ210万人以上もの子どもたちがメンバーとして様々な活動に取り組んできています。

こどもエコクラブの特徴は、環境にいいことを子どもたち自身が考えて、楽しみながら実践すること。周りの大人たちは、彼らの興味や関心を上手に引き出しながら、活動のサポートをする重要な役割を担います。「そんな大変なこと、自分にはできないよ」と思われるかもしれませんが、心配はいりません。子どもたちは、旺盛な好奇心と行動する力、豊かな想像力と柔軟な思考力にあふれています。ほんの少し背中を押してあげれば、子どもたちはすぐ、元気に活動を始めることでしょう。

この応援マニュアルには「こどもエコクラブ」についての基本的な事項のほか、子どもたちにそうしたきっかけを与えるヒントや、活動をステップアップしていくためのコツが掲載されています。まずは子どもたちと一緒にアクションを起こしてみましょう。そして楽しみながら活動を続けていく中で、子どもたちの成長を身近に感じられるとともに、私たち大人も子どもたちから刺激を受け、学び、変わっていくことを実感できると思います。

未来を生きる子どもたちが、希望に満ちた社会の姿を思い描き、その実現に向けて歩み続けることができるよう、「こどもエコクラブ」の仲間としてともに活動していきましょう！

目次

一年間の活動の流れ	4
活動の流れ	6
こどもエコクラブ情報を入力しよう！ ウェブサイト・SNS・メール	9
活動のヒント	11
活動中の事故について	13
こどもエコクラブを支える力	14
わたしたちの目標	16
ちょっとした心得	18
支援のお願い	20
パートナー企業一覧	22
センス・オブ・ワンダー	23
キャラクター清刷り	24

がんばりアースクラブ

こどもエコクラブ イメージキャラクター「エコまる」とその仲間たち

地球をモチーフに、頭には環境 (environment) のイニシャル「e」をあしらひ、地域で楽しく環境学習環境保全活動をする姿を現しています。
仲間たちの頭のアルファベットを並べるとearth (地球) になります！





① 全国事務局等で実施する活動

活動フォトコンテスト

元気な活動の様子や子どもたちの環境への思いを、多くの人に写真でわかりやすく伝えることを目的に実施します。受賞したクラブには、活動にも役立つステキな賞品が贈られます。

活動レポート各賞

活動レポートを送ってくれたクラブに対して、「活動レポート新人賞」等が授与されます。今まで活動報告をしたことがないクラブは、ぜひ挑戦してみてください！

地域交流会・活動発表会

こどもエコクラブが地域単位で集まり、日頃の活動を報告しあったり、一緒にプログラムを体験したりして交流を深めます。今年度も、全国各地で交流会の開催が予定されています。

壁新聞・絵日記の募集

こどもエコクラブとしてがんばってきた活動を模造紙1枚にまとめた壁新聞と、一番思い出に残った活動や伝えたいことをかいた絵日記を募集します。感じたことをふりかえり、新たな発見を得る機会になるとともに、有識者のアドバイスにより活動のさらなる充実・発展につながります。また、応募いただいた壁新聞・絵日記のうち特に優れた作品に環境大臣賞、文部科学大臣賞等が授与されます。



全国フェスティバル

1年の活動の締めくくりとして、全国からこどもエコクラブのメンバーが集まって交流します。壁新聞や絵日記をもとに自分たちの活動を紹介しあったり、企業・団体が行う環境への取り組みについて話を聞いたりします。

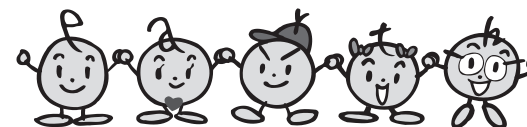


② 年間スケジュール

クラブやお住まいの地域のイベント等をご記入ください★

春	<ul style="list-style-type: none"> ●登録受付・活動開始 ●活動フォトコンテスト開始
夏	
秋	<ul style="list-style-type: none"> ●壁新聞・絵日記募集開始 ●アースレンジャー認定証受付開始
冬	<ul style="list-style-type: none"> ●壁新聞・絵日記募集締め切り ●全国フェスティバル

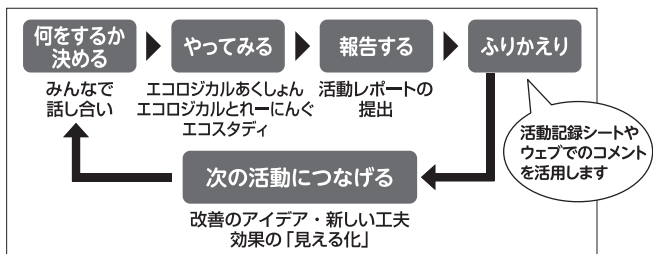
これ以外にも、各地域事務局で様々なイベント・交流会を開催しています。こどもエコクラブウェブサイト (<http://www.j-ecoclub.jp/>) やメールインフォメーションで、随時最新情報をお知らせしていきますので、こまめにチェックしましょう！





活動の流れ

子どもエコクラブの活動は、基本的に右図のような流れで進みます。ここでは、その流れについて具体的に説明します。



① 活動のツール

メンバーズバッジ あかしメンバーの証。希望するメンバー全員に差し上げます。毎年色が変わるのでお楽しみに!

メンバー手帳 小学生以上の希望するメンバーに差し上げます。活動の目標やスケジュールが書けるようになっていきますので、ぜひ活動予定をクラブで話し合ってください。活動を記録することで、活動を振り返り、新しい発見や課題の抽出に役立ちます。気づいたことや感想、疑問などでもできる限り残しておくよう促しましょう。

ぼくの／わたしのエコカード 小学生未満の希望するメンバーに差し上げます。エコな習慣や行動にチャレンジし、実践できたら色を塗っていきます。4回できたらご褒美としてお手持ちのシールやスタンプをあけて、次の活動への意欲につなげてください。



(イメージ)

② 活動の基本

エコロジカルあくしょん

子どもエコクラブの基本となる活動。メンバー自身が自分たちでやりたいことを考えて、自由に行う活動のことです。子どもが一人で行えること、家の人たちと協力してできること、学校やクラブの仲間たちと協力してできることなど、メンバーで相談しながら内容を決めて、実際にやってみることが大切です。どんな活動をやろうかな?と悩んだら、ウェブサイトに掲載されている他のクラブの活動レポートも参考にしてください。

エコロジカルとれーにんぐ

誰でも簡単に取り組める環境活動プログラムです。自然・生きもの・空気・水・まち・くらし・まちづくりの7分野、全部で30のプログラムが、ウェブサイトに掲載されています。いろいろなことに取り組んでみたいクラブや、何をやったらいいか悩んでいるクラブは、この中から関心のあるものを選んでチャレンジしてみましょう。

Eco Study

指導者用マニュアルとワークシートがセットになったプログラムがウェブサイトからダウンロードできます。学校の先生が授業で使用することを想定していますが、家族や、地域で活動するサポーター・コーディネーターも自由に活用できる内容です。自然や暮らしなどの多様なテーマで11のプログラムが掲載されています。目安となる対象年齢が設定されていますので、メンバーの年齢層に合わせてご利用ください。

子どもエコクラブウェブサイト▶「Let's チャレンジ」をご覧ください!
<http://www.j-ecoclub.jp/challenge>



③ 活動報告のしかた

クラブで活動したら、活動レポートを送りましょう。企業や自治体の環境イベントへの参加、自然観察、地域のごみ拾い、家庭での省エネなど、どんなものでもOKです。地域性のあるものや自分たちらしさが出ているものなど、楽しかった活動の写真などを添えて、どんどん報告してください!

ウェブサイトで!

「活動を報告する」をクリックして必要事項を入力・送信するだけで、クラブのページができ、簡単に活動報告ができるとともに、活動の記録も残すことができます。また、送信いただいた報告は、全国事務局で内容確認後、順次サイトに掲載いたします(掲載を希望するクラブのみ)。報告してくれたクラブには、アーススタンプ(P.8参照)が自動配信されますので、参加メンバー分をコピーして子どもたちにお配りください。



子どもエコクラブ「活動レポート」
<http://www.j-ecoclub.jp/ecoreport/>

報告するとこんなイイコト!

- 1 ウェブサイトで報告された活動レポートに対しては、環境に詳しい「子どもエコクラブ応援団」から、今後の活動の発展・充実に役立つコメントやアドバイス「エールメッセージ」が届きます!
- 2 活動レポートに添付する写真にチェックするだけで、ステキな賞品がもらえる「クラブ活動フォトコンテスト」に応募することができます!
- 3 活動レポートを送ってくれたクラブに対して、「活動レポート新人賞」等が授与されます!

※活動報告の確認に2~3日かかる場合もございますので、あらかじめご了承ください。

コーディネーターの方へ

自治体での子どもエコクラブ関連イベント実施の報告もお待ちしております。

郵送で!

ウェブサイト「サポーター・コーディネーター」のページ (<http://www.j-ecoclub.jp/supporter/>)より「活動報告用紙 (Word)」をダウンロード・記入し、地域事務局(子どもエコクラブの窓口)を開設している地方自治体)または全国事務局までお送りください。アーススタンプをお送りいたします。

※お送りいただいた報告やお写真は返却いたしません。

※郵送での報告に対しては「エールメッセージ」は届きません。何卒ご了承ください。



④ アースレンジャーを目指そう

ウェブサイトや郵送で活動レポートを送ると、アーススタンプがもらえます。もらったスタンプはメンバー手帳に集めていきましょう。**1年間の活動でアーススタンプを5個集めると「アースレンジャー認定証」がもらえます。**ぜひ、みんなで地球を守る「アースレンジャー」を目指しましょう! また、子どもエコクラブの活動を継続して3年間行くと「銀バッジ」、6年間行くと「金バッジ」がもらえます。

「アースレンジャー」、「金・銀バッジ」を目指すことや子どもたちの活動を褒めてあげることが、継続意欲の向上につながります。活動を続けるきっかけとしてぜひ活用ください。



(イメージ)

コーディネーターの方へ

全国事務局では、ウェブサイトを通じてクラブの活動レポートを受け付け、アーススタンプをE-mailでクラブに配信するとともに、活動レポートの提出があった旨を、該当するコーディネーターの方にメールにてお知らせいたします。

管下クラブからの活動レポートが直接コーディネーターに届いた場合は、以下の通りご対応ください。

手帳に記載された子どもからの活動記録の場合

アーススタンプをそれぞれの手帳に押印して、サポーターにご返却ください。

活動記録用紙による、サポーターからの報告の場合

活動に参加したメンバーの人数分のスタンプをコピー用紙等に押印して、サポーターにご返却ください。

子どもたちの活動に対する充実したサポートのために、クラブからの活動レポートは大変貴重です。活動レポートが届いたときには、必ず全国事務局にFAXやE-mail等でお送りください。

※アーススタンプをお持ちでないコーディネーターの方は、全国事務局までご連絡ください。

⑤ 活動を継続しよう

年度末に、全国事務局から次年度の継続登録についてのご案内をお届けします。子どもたちの活動を引き続き応援するために、ぜひ継続登録をお願いいたします。年度内に継続届をご提出いただいたクラブは、賠償責任保険に切れ目なく加入できるほか、新しいツールをいち早く手に入れることができます。



ウェブサイト

<http://www.j-ecoclub.jp/>

子どもエコクラブの最新情報、環境活動プログラム、全国事務局への報告や連絡等に用いる各種様式を提供しています。全国の子どもエコクラブの方々にご活用いただける情報の掲載はもちろん、各地で行われている子どもたちのユニークな活動を広く一般の方々にアピールすることによって、環境活動の輪を広げる役割も担っています。

コーディネーターの方へ

子どもたちの活動をともに盛り上げていくために、貴自治体の環境関連サイトや子ども向けのサイトとのリンクを是非お願いたします。リンクしていただける場合には、下記メールアドレスまでご連絡ください。

メールアドレス▼

kodomoeco@asahi-net.email.ne.jp



主なコンテンツ

① 活動レポート～みんなのエコロジカルあくしょん～

全国のクラブの活動(P.7参照)を紹介しています。簡単に取り組めるものから、地域の大人たちを巻き込んだ本格的なものまで、様々な活動が掲載されています。活動時期やフリーワードでの検索もできますので、自分たちの活動のヒントを探す時に役立ちます! ぜひご覧ください!

② お知らせ

お知らせ

子どもエコクラブ関連イベントのご案内や報告、パートナー企業のイベント・コンクールの参加者募集など、全国事務局からの様々なお知らせを掲載しています。

イベント情報

各地で行われる環境イベントや、全国事務局が主催するイベントの情報を随時掲載しています。お住まいの地域のイベント情報もあるかも!?要チェック!!

※掲載を希望するイベントの情報もお待ちしています!全国事務局までご連絡ください。

壁新聞道場!

前年度に応募いただいた全ての壁新聞を都道府県別にご紹介。師範からの愛あるゴンドウがもらえます。

リアルヴォイス

全国のサポーター・コーディネーターのみなさんの熱心な取り組みや、子どもエコクラブに対する想いなどを紹介しています。

ユース TOPICS

All Japan Youth Eco-club (子どもエコクラブ OB/OG) の活動を掲載しています。



活動のヒント

③ Let's チャレンジ

エコロジカルとれーにんぐ、Eco Studyといったプログラム（P.6 参照）のほか、活動のヒントになる楽しいクイズやマンガなどを紹介しています。おもしろそうなものが見つかったら、Let's try!!

④ サポーター・コーディネーターの方へ

クラブの人数や連絡先等が変わったときに提出する「変更・解散届」、ミーティング記録シートや取材メモ、エコログの追加用紙等の活動時に使用するツールなど、事業全般にかかる各種様式は、すべてこのページからダウンロードできます。



メールインフォメーション

① サポーターメールインフォメーション

各地の環境イベントや環境教育、助成金に関する情報等を月2回、全国事務局からE-mailで提供いたします。登録用紙に記載された代表サポーターのほか、配信を希望する方にお送りします（一つのクラブで、何名様でもOKです）。

配信希望のご連絡は

タイトルを「サポーターメールインフォメーション配信希望」とし、下記メールアドレスまで送信してください。

② コーディネーターメールインフォメーション

コーディネーターの方々へ、子どもエコクラブに関する大切なお知らせやイベント情報、管下クラブの登録状況などの情報を、登録されたアドレスに随時発信しています。

※コーディネーター（子どもエコクラブの都道府県・市区町村担当者）を対象としているため、サポーターは登録できません。ご了承ください。

追加・変更するには

メールのタイトルに「登録アドレス追加・変更」、本文に「自治体名」「担当者名」と変更前・変更後のアドレスを記入して、下記メールアドレスまで送信してください。

メールアドレス▶ kodomoeco@asahi-net.email.ne.jp

このほか、フェイスブックやツイッターでも情報発信を行っています。ぜひ「いいね!」とフォローをお願いします!!



① 活動の目標を立てよう

みんなで話し合っ、一年間の子どもエコクラブの活動の目標を決めましょう。一年目のクラブの場合、自分たちだけで実行可能なものにするのがよいと思います。具体的な数字を入れておくと、一年後に達成できたかどうかのチェックが簡単にできますね。



② 環境イベントに参加しよう

夏休みなどの長期休暇には、各地で自然観察会や工作教室など子ども向けの体験イベントを多く開催しているほか、6月の環境月間などに大きな環境イベントを実施しているところもあります。お住まいの自治体の広報紙やウェブサイトをチェックしてみてください。地域別にイベント情報が検索できる以下のサイトも参考になりますよ。

自然大好きクラブ <http://www.env.go.jp/nature/nats/>
環境らしんばん <http://www.geoc.jp/rashinban/>
緑のgoo <http://www.goo.ne.jp/green/events/>
EIC ネット <http://www.eic.or.jp/event/>



学校で…

③ 節電

教室の照明をこまめに消すなど、電気の節約に取り組みます。ポスターを作って呼びかけてもいいですね。活動の効果も簡単に調べることができます。



④ 緑のカーテン

ゴーヤ、アサガオ、ヘチマなどを育てて、夏の日差しをさえる「緑のカーテン」づくりに挑戦! 温度の違いを比較すると効果がよくわかります。ゴーヤは、実がなったらクッキングにも。

⑤ 校庭・プールのいきもの観察

校庭の樹木や花壇にいる虫やいきものを観察してみましょう。掃除する前のプールではヤゴや水生生物が見られるかもしれませんよ。可能ならば、近くの公園や河原まで出かけてみると、もっといろいろないきものに会えることができます。





活動中の事故について

家庭で…

⑥ 省エネ

冷蔵庫の開け閉めを素早く、照明やテレビ等のこまめな ON/OFF、歯磨きの時に蛇口を閉める、など、生活の中でできる省エネがいろいろなところで紹介されています。家族でこれだけは必ず！というものを決めて、実行してみましょう！

⑦ クッキング

旬の素材や地域の特産品を使った料理をつくって食べてみます。郷土料理にチャレンジしてみるのもおもしろそう。普段食べているものがどこから来ているのか調べたりすると、さらに興味が広がります。



⑧ リサイクル工作

牛乳パック、ペットボトル、アルミ缶、新聞紙など、リサイクルに出す前にいろいろ作って遊んじゃいましょう。ヒントが欲しいときは「リサイクル工作」でインターネット検索すると、参考になるサイトがたくさん出てきます。

⑨ 散歩

近くの公園までのいつもの散歩も、立派なエコ活動になります。道端の草花や近所の庭木、鳥や虫などに目を向けてみましょう。季節による変化はもちろん、雨の日にもまた違った発見がありますよ。

地域で…

⑩ ごみ拾い

町内会や地域の団体が主催する、公園や河川敷などのごみ拾いに参加してみましょう。どんなごみが多いか、どこに多く落ちているかなどを調べると、ごみを減らすための対策にもつながるかもしれません。



⑪ 農業体験

自治体やNPO、企業などが、田植えや収穫などの農業体験イベントを各地で企画・実施しています。子どもエコクラブが協働で企画・運営する「いきものみつけファーム (<http://www.ikimonomikke-farm.com/>)」もありますので、お近くの方はぜひご参加ください。自ら汗を流して育てたお米や野菜の味は格別ですよ!!



※写真はクラブ活動フォトコンテストの応募作品です。

賠償責任保険への加入

子どもエコクラブに登録したクラブを対象に、全国事務局で賠償責任保険に加入しています。子どもエコクラブに登録すると、自動的に保険の対象となります。自己責任のケガや病気は対象となりませんのでご注意ください。

保険の内容

クラブ主催の活動(行事)中にサポーター等の運営・管理上のミスにより、第三者に損害を与え、法律上の賠償責任を負った場合に保険金が支払われます。

例) 活動中に、メンバーが第三者の民家の垣根を壊して法律上の賠償責任を負った。

補償内容と限度額

対人: 1人あたり1,000万円、1事故あたり1,000万円(自己負担額1千円)

対物: 1事故あたり300万円(自己負担額1千円)

支払われる項目

被害者に支払う損害賠償金

応急手当の費用、裁判費用、弁護士費用など

傷害保険など

上記のとおり、自己責任によるクラブの活動中のケガについては、補償の対象となりません。別途傷害保険等に加入することをお勧めします。損害保険会社の「傷害保険」のほか各種共済等でも補償を受けられます。低廉な保険料の「スポーツ安全保険」は、子どもエコクラブの活動中の事故も対象とする旨を確認しています。

例) スポーツ安全保険

スポーツ安全協会または下記照会先までお問い合わせください。サポーターを含む5人以上のグループ単位で申し込みができます。

保険の内容: 加入者(子ども・サポーター)が活動中に被った傷害及び損害賠償責任が対象

補償内容: 加入者の死亡2,000万円(子ども)、
1,000~2,000万円(サポーター、加入区分による)等

保険期間: 4月1日から翌年3月31日まで(掛け金振込翌日から有効)

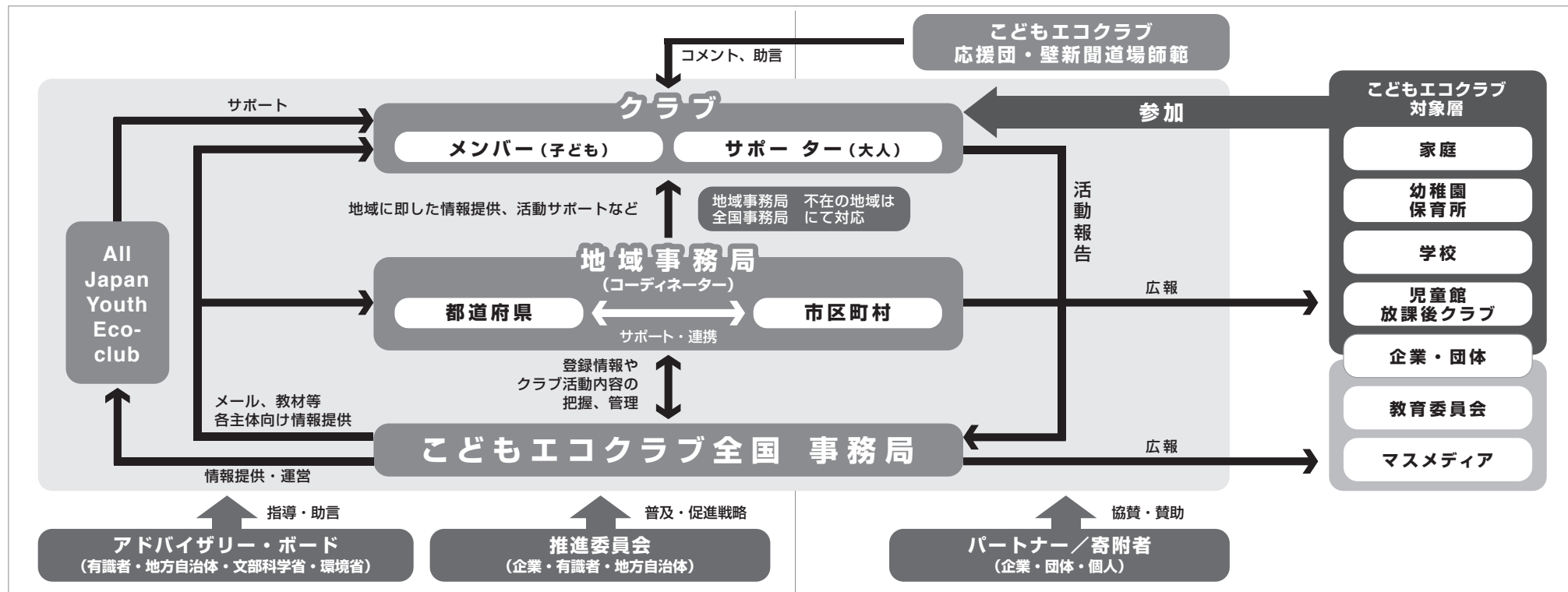
保険料(掛け金): 年間一人あたり800円(子ども)、800~1,300円(サポーター)

※「子ども」は、中学生以下の生徒・児童・幼児です。高校生のメンバーは、保険上の扱いはサポーターと同じになります。

スポーツ安全協会 URL: <http://www.sportsanzen.org/index.html>

三井住友海上火災保険株式会社 公務開発部営業第二課 子どもエコクラブ担当

電話: 03-3259-4061



こどもエコクラブの運営には多くの人たちが関わり、全国のクラブの活動を支援しています。

① サポーター

こどもエコクラブに登録した各クラブの子どもたちを直接応援する大人の方々のことです。子どもたちと一緒に活動するとともに、必要に応じて子どもたちの活動へのアドバイス、活動・仲間づくりのサポート、全国事務局やコーディネーターとのやり取りなどを行います。一つのクラブに何人いても構いません。高校生・大学生も大歓迎です（代表サポーターのみ、成人の方に限ります）。

② 地域事務局（コーディネーター）

こどもエコクラブの子どもたちを応援し、都道府県や市区町村に窓口を設置している地方自治体を「地域事務局」、その担当者の方を「コーディネーター」と称しています。

コーディネーターは、こどもエコクラブの紹介や登録の呼びかけ、クラブへの情報提供を行います。また地域によっては、登録・変更解散届や活動報告の受付等でクラブとの積極的なコミュニケーションを図ったり、交流会・発表会の開催やクラブへの表彰等を通じて地域に根ざした活動ができるよう応援したりしています。

※各地域の地域事務局は、ウェブサイトに掲載しています。

③ 応援団・壁新聞道場師範

環境カウンセラー等の資格をもつ、環境保全活動や環境学習の専門家。各クラブの活動レポートや壁新聞に対して、コメントや今後の活動の発展・充実に役立つアドバイスを下さる頼もしい存在で、クラブのステップアップを強力にサポートします。

④ All Japan Youth Eco-club

こどもエコクラブのOB・OGを中心とした若い世代のネットワークです。メンバーの子どもたちと年齢が近く、経験豊富な頼れるお兄さん、お姉さんたちが、様々な形でクラブの活動を応援してくれます。メンバーは随時募集していますので、長く活動されているクラブは、ぜひOB・OGにお声掛けください。

⑤ アドバイザー・ボード、推進委員会

こどもエコクラブの運営方針や、普及・事業効果促進のための方策などについて検討・助言をいただく組織で、国（環境省、文部科学省）、地方自治体、有識者、企業の方たちで構成されています。

⑥ パートナー（企業・団体）

こどもエコクラブで活動する子どもたちを応援する企業・団体のことです。事業の趣旨に賛同しご協賛いただいているほか、広報等を通じて事業の普及にもご協力をいただいています。

⑦ 寄附者のみなさま（個人）

同じくこどもエコクラブの趣旨に賛同し、個人として寄附をいただいている方々です。

⑧ 全国事務局

こどもエコクラブ事業全体の運営・管理を行っています。活動に使用するツールやプログラムの作成、交流会等イベントの企画・実施、各種情報の提供など、サポーターやコーディネーターと連携して子どもたちの環境活動を支援します。また、多くの子どもたちに環境活動が広がるよう、事業の広報・普及に注力するほか、事業の安定的な継続に必要な資金の調達も行います。



私たちは、こどもエコクラブが学校、市民グループ、企業等各主体をつなぎ、持続可能な地域社会にむけ活動することを理想に掲げています。そのためのミッションは、

- 環境学習・環境保全活動を通じて、子どもの「未来を創る力」を育てること
- 地域において環境に関心を持つ人を増やし、環境保全を促進すること

であると考えています。

『未来を創る力』を身につけた子どもの育成 『地域の環境力』向上



STEP 3 交流・ステップアップ

活動の内容やかたちが違っていても、同じ想いの仲間同士をつなぎ、暮らしや活動のベースとなる地域（人や自然・文化など）とつながる機会を提供します。

全国事務局・地域事務局からのサポート

- 地域交流会
- 全国フェスティバル
- 壁新聞道場

STEP 2 環境活動・学習の活性化

子どもたちの活動意欲が向上し活性化するよう、活動への助言を行うとともに、個々の活動を紹介したり、発表や表彰などの機会を設けたりします。

- 活動記録シートの記入
- クラブの活動レポートのウェブサイト掲載
- 応援団によるエールメッセージ
- 壁新聞・絵日記の募集

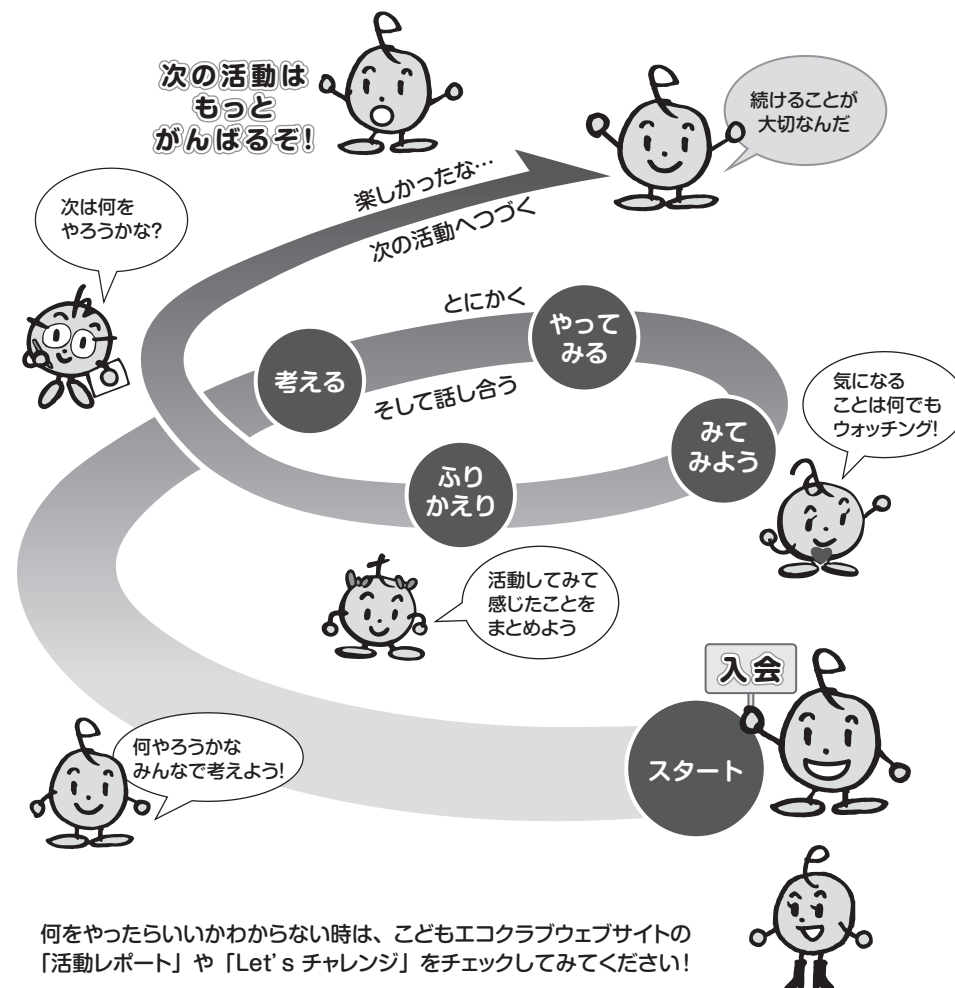
STEP 1 環境活動・学習のきっかけづくり

個人やグループ・団体が、環境活動・環境学習に取り組むきっかけをつくります。そのためのツールやプログラム、情報の提供を行います。

- こどもエコクラブの募集・広報
- ツール、プログラムの提供
- 環境活動・学習に役立つ情報の提供
- 広報ツール等の貸し出し

活動のステップアップのために

6 ページの図にあるように、こどもエコクラブは 1 回限りの活動ではなく、そこから学んだことを次に活かすことで、クラブの活動が活性化し活動内容が発展するなど、それぞれのクラブがステップアップしていくことを目指しています。そのために欠かせないのが「ふりかえり」です。活動や体験で感じたこと、考えたことを必ず手帳の活動記録ページに書かせるようにしましょう（最初は短くても構いません）。書けた子どもはまず褒めてやり、できれば一言添えてあげてください。そうすることが、新たな課題の発見と次の活動に向けた意欲につながります。これらを繰り返し、続けていくことで、子どもたちは自然に、自ら考え、学び、仲間と対話し、行動する力を身につけていこう。



何をやったらいいかわからない時は、こどもエコクラブウェブサイトの「活動レポート」や「Let's チャレンジ」をチェックしてみてください！



子どもたちの、子どもたちによる、子どもたちのための環境活動

こどもエコクラブの活動が、子どもたちにとって楽しくてためになり、続けていくに値するものであるためには、大人の適切なアドバイスやサポートが必要です。しかし、ついつい張り切ってしまうと、

- 子どもは形式的に、あるいはいやいや参加するだけ。
- 子どもたちはお客さんとして招かれ、言われたとおりに動くだけ。
- 大人が口を出し過ぎて、子どもたちの自主的、自発的な活動をゆがめてしまう。

という状態に陥ることもありがちです。これでは、いくらたくさん子どもたちが登録したとしても、本来の目的を達成することはできません。何といても、子どもたちが自主的に活動に取り組むことがいちばん。大人の手が加わらないほど、理想のクラブであるともいえます。そのためには、子どもたちの様子を見ながら、大人の順番を見極めることが必要です。

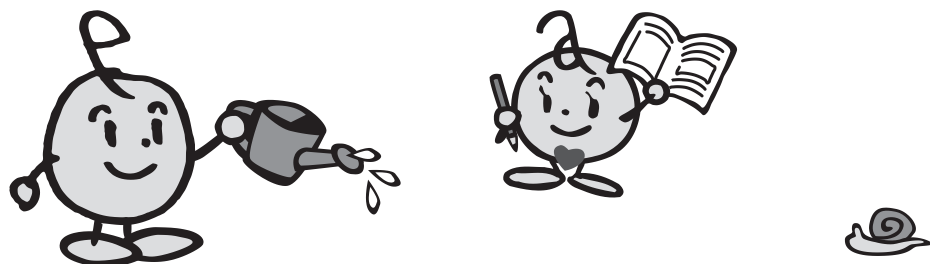
そこで、クラブを「子どもたちの、子どもたちによる、子どもたちのための環境活動」として、上手に応援していくにあたっての、ちょっとした心得を整理しておきましょう。



クラブの活動は、子どもたちの興味、関心、欲求から生まれてほしい

人から与えられたものではなく、自分たちの興味、関心、欲求から生まれたものだからこそ、自分たちのこととして自主的・主体的に活動をやってみよう、続けていこうという気持ちになるものです。こどもエコクラブで紹介しているプログラムや、環境イベントなどはそのきっかけとして役に立ちます。活動を通じて子どもたちの「なぜ?」や「どうして?」を、うまく引き出してあげてください。

また、時として子どもたちの思いは、単なる思いつきだったり、偏りがあったり、大切なことを気づかずにいるということもあります。それぞれの子どもたちの思いを尊重しつつも、「こんな考え方もあるよ」とか「別の立場の人だったらどう思うかな?」などの、見方を変えるきっかけを与えてみましょう。



クラブの活動は、子どもたち自身の創意・工夫で創り上げてほしい

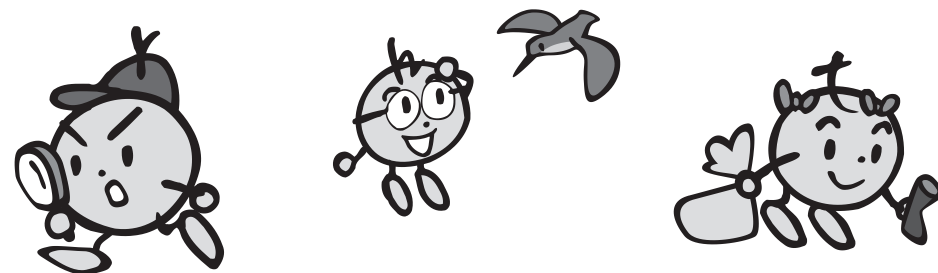
子どもたちは、いろいろな意味で未熟な存在かもしれませんが、大人もびびりするような感性や知識、行動力を備えています。「三人寄れば文殊の知恵」、「十人十色」…メンバーひとりひとりの持つ思いや能力が十分に発揮されれば、いきいきした活動が生まれることでしょう。安易に答えや解決策を与えるのではなくヒントを出すにとどめ、まずは自分たちで考えたり、話し合ったりさせてください。私たちは、もっと子どもたちの可能性を信頼してもよいのではないのでしょうか。



クラブの活動は、結果も大切だけど、それまでの過程を大切にしてほしい

「参加した人数は?」、「集めた空き缶の数は?」—場合によってはその結果だけがとりあげられがちです。結果がよいに越したことはありませんが、それよりも大切なことは、そこに至るまでのみんなの関わりや努力です。話し合ったり、役割を分担したり、準備したり、協力したり…。「きっと失敗するだろうな」と思っても、子どもたち自身が決めたことであれば、まずはやらせてみてください（明らかに危険なことや、周囲に迷惑をかけるようなことは別ですが）。その体験から学び、考えたことは、すんなり成功したときよりもずっと深く、自分の身につくはずですよ。

これらの心得を胸に、私たち大人も子どもたちと一緒に楽しみ、学び、行動することで、クラブの活動は一層充実したものになります。そしてその活動の輪はクラブを超えて、地域全体に広がっていくでしょう。





支援のお願い



こどもエコクラブは、企業・団体、個人等のご寄附・協賛金により運営しています。

環境学習・環境保全活動を通じて子どもの「未来を創る力」を育て、地域において環境に関心を持つ人を増やして環境保全を促進することもエコクラブの取り組みに、ぜひ多くの方々に関わっていただきたいと思えます。みなさまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

いただきました寄附金は「こどもエコクラブ事業支援」として、こどもエコクラブメンバーの人材育成、環境保全、啓発普及活動等に活用させていただきます。

ご寄附をいただいた方々につきましては、ご芳名をウェブサイトに掲載させていただきます(希望者のみ)。

ウェブサイトからのクレジットカードによるご寄附

こどもエコクラブウェブサイト ▶ 「ご支援のお願い」 ▶ 「寄附をする」

- 思い立ったら! エコまるフレンズ (都度寄附) 3,000 円
- 毎年! エコまるフレンズ (継続寄附) 10,000 円 / 年
- 毎月! エコまるフレンズ (継続寄附) 1,000 円 / 月



郵便振替、銀行振込によるご寄附

	郵便振替	銀行・金融機関振込
銀行名	ゆうちょ銀行	ゆうちょ銀行〇ー九(ゼロイチキョウ)支店
口座番号	00100-7-765058	当座 765058
口座名	こどもエコクラブ	
住所	〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16 馬喰町第一ビル9階	
寄附額	3,000円より	
手数料	所定の「払込取扱票」をご利用いただければ手数料がかかりませんので、事前に全国事務局までご連絡ください。払込取扱票をお送りいたします。	恐れ入りますが、手数料のご負担をお願いいたします。

※お手数ですが、振込用紙等の「通信欄」にご氏名・ご住所・ご連絡先、ウェブサイトへの記名の可否、領収書の要不要のご記入をお願いいたします。なお本寄附は、寄附金控除の対象になりますので、領収証は大切に保管しておいてください。

ご寄附をいただいた方には・・・

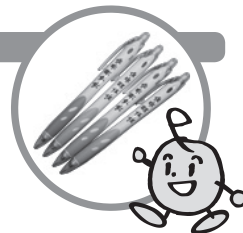
- ・こどもエコクラブ活動フォトコンテストの優秀作品を使用したポストカードセットをお送りします。
- ・お住まいの地域のこどもエコクラブの活動などの情報をお送りします。
- ・事業に関連する行事などの情報をご案内いたします。
- ・こどもエコクラブのウェブサイトにご芳名を記載します(ご希望の場合)。
- ・事業報告書等をお送りします。

寄附金控除について

日本環境協会は、内閣総理大臣より公益財団法人の認定を受けているため、こどもエコクラブへの寄附及び会費には、特定公益増進法人としての税制上の優遇措置が受けられます。個人の場合、確定申告をすることにより、2,000円を超える寄附額の40%(自治体によっては、住民税と合わせて最大50%)が所得税額より控除されます。詳しくは弊協会ウェブサイトをご覧ください。

エコまるグッズの販売

イメージキャラクター「エコまる」がデザインされたオリジナルグッズをウェブサイト販売しています。クラブのシンボルや、がんばったメンバーへのごほうびとして、ぜひお買い求めください!



申込方法

①エコまるグッズ注文書(ウェブサイトよりダウンロードできます)にご希望のグッズをご記入のうえ、全国事務局までお送りいただくとともに、料金を下記口座にお振り込みください。

※振込手数料については、ご購入者様にてご負担ください。

	ゆうちょ銀行でのお振込	他の金融機関でのお振込
銀行名	ゆうちょ銀行	ゆうちょ銀行〇ー九(ゼロイチキョウ)支店
口座番号	00140-6-0553191	当座 0553191
口座名	こどもエコクラブ全国事務局(コドモエコクラブゼンコクジムキョク)	

②全国事務局にてご入金を確認した後、2週間以内に発送いたします。2週間以上経ってもお手元に届かない場合には、大変お手数ですが全国事務局までご連絡ください。

ご注意

- ・領収証が必要な場合は、注文時に全国事務局までお申し出ください。
- ・グッズが届くまで、注文書をお手元に控えておいてください。
- ・お客様の都合によるグッズの返品・交換は、お受け致しかねます。
- ・グッズの管理については十分注意しておりますが、万が一「不良品」が届いた場合には全国事務局までご連絡ください。早急に対応させていただきます。

書き損じハガキの送付

年賀状や暑中見舞いなどで、書き間違えたり余ったりしたハガキ(郵便ハガキ、未投函のもの)を全国事務局までお送りください。子どもたちにツール等を送る発送費として活用させていただきます。

※送付に際し、ハガキの中の個人情報にあたる部分については、お手数ですが予め油性ペンなどで塗りつぶしていただきますようお願いいたします(料額印面を汚さないようご注意ください)。

古本募金「きしゃぼん」による寄附

読み終わった本、見なくなったDVDなどを運営会社(嵯峨野株式会社)にお送りいただき、査定・換金の上、換金額をご寄附とするものです。詳細は「こどもエコクラブ×きしゃぼん」Webサイト(<http://kishapon.com/jea/>)をご覧ください。



こどもエコクラブの趣旨に賛同し、事業全般にご支援をいただいているパートナーのみなさまです。

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| アマノ | 東京都民銀行 |
| アライアンス | 東芝 |
| イトーキ | 東洋ライス |
| エコスグループ | トヨタ自動車 |
| エコ・ファースト推進協議会 | ニコン |
| SG ホールディングズグループ(佐川急便) | 西日本ビル代行 |
| エフピコ | 日本容器包装リサイクル協会 |
| 王子ホールディングス | 長谷工コーポレーション |
| 岡山東法人会 | バンダイナムコホールディングス |
| 共立駐車場工事 | 富国運輸 |
| キリン | ブリヂストン |
| コカ・コーラウエスト | プロントコーポレーション |
| 島村楽器 | 文化シャッター |
| 清水建設 | ミールケア |
| 住商フーズ | 三井化学 |
| 世界貿易センタービルディング | 三井住友海上火災保険 |
| 積水化学工業 | 三井住友銀行 |
| 全労済 | 三井不動産 |
| 総合ハウジングサービス | 三菱地所 |
| 高杉製薬 | 三菱電機 |
| タカラトミー | 山田養蜂場 |
| チェンジフィールド | ライオン |
| 鉄建建設 | リッキーシステムソリューション |
| 東京交通会館 | 龍角散 |
| 東京国際フォーラム | ロックペイント |
| 東京建物 | |

(五十音順・2016年3月現在)

【後援】
環境省



センス・オブ・ワンダー

子どもたちの世界は、いつも生き生きとして新鮮で美しく、
驚きと感激にみちあふれています。

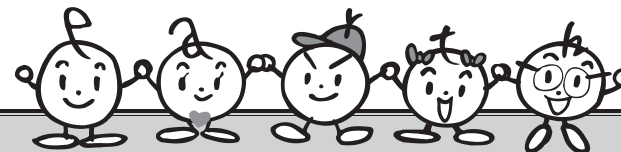
残念なことに、わたしたちの多くは大人になるまえに澄み切った洞察力や、
美しいもの、畏敬すべきものへの直観力をにぶらせ、
あるときはまったく失ってしまいます。

もしもわたしが、すべての子どもの成長を見守る善良な妖精に
話しかける力をもっているとしたら、
世界中の子どもに、生涯消えることのない
「センス・オブ・ワンダー=神秘さや不思議さに目を見はる感性」
を授けてほしいとたのむでしょう。

この感性は、やがて大人になるとやってくる倦怠と幻滅、
わたしたちが自然という力の源泉から遠ざかること、
つまらない人工的なものに夢中になることなどに対する、
かわらぬ解毒剤になるのです。

妖精の力にたよらないで、生まれつきそなわっている子どもの
「センス・オブ・ワンダー」をいつも新鮮にたもちつづけるためには、
わたしたちが住んでいる世界のよこぎ、感激、神秘などを
子どもといっしょに再発見し、感動を分かち合ってくれる大人が、
すくなくともひとり、そばにいる必要があります。

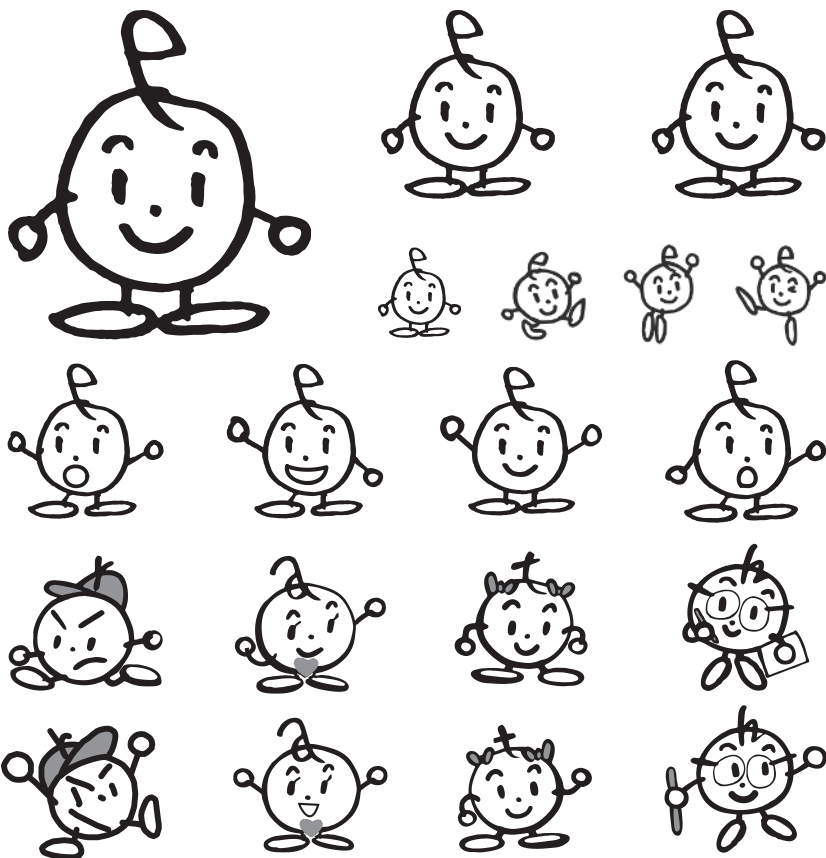
レイチェル・カーソン 「センス・オブ・ワンダー」(上遠恵子=訳)



キャラクター清刷り

こどもエコクラブに登録しているクラブがご使用になる場合には、自由にコピーしてご利用ください。

※コーディネーターが使用する場合には、申請書類が必要です。こどもエコクラブウェブサイト「サポーター・コーディネーターの方へ」のページからダウンロードして、ご記入の上、全国事務局までお送りください。



こどもエコクラブ全国事務局
(公益財団法人日本環境協会)

〒103-0002
東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16 馬喰町第一ビル9階
TEL: 03-5643-6251 FAX: 03-5643-6250
E-mail: j-ecoclub@eic.or.jp

こどもエコクラブウェブサイト:

<http://www.j-ecoclub.jp/>

(第1刷)

